

わが家のアイドル



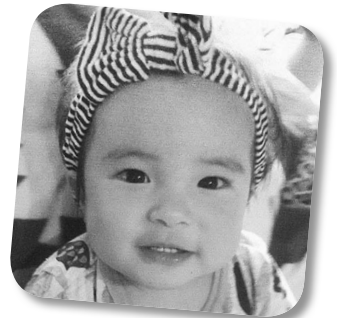
くろだ はると
黒田 颯斗くん
「じじばば大好き♥」
(荒川上田野)



くろすま ゆづき
黒沼 結月ちゃん
「イタズラ大好き♥」
(和泉町)



なかやま けん
中山 健くん
「クックでお出かけ大好き」
(上町)



のさか べに
野坂 紅ちゃん
「食べるの大好き」
(荒川上田野)

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで。)抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

市民文芸

俳句の選者が交代しました

俳句

須田 真弓 選



須田 真弓 先生

今月号から、関田誓炎先生の後を受けて、須田真弓先生に俳句の選者をご担当いただくことになりました。須田先生は2006年から俳句を始め、故有馬朗人氏に師事されました。2013年に上梓した第一句集「父恋」は埼玉文芸賞佳作となり、2018年「秩父朱夏」で埼玉文学賞準賞を受賞されました。その他、角川全国俳句大会で審査委員会特別賞、NHK全国俳句大会や芭蕉翁献詠俳句などで数多く授賞されています。俳人協会会員、国際俳句交流協会会員として、また今年度より市立図書館の俳句講座の講師も務められ、さまざまな分野で活躍されています。

関田誓炎先生には平成30年度2月号より広報誌発行にご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記のうえ、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

俳句 6月末締切→8月号に掲載
短歌 7月末締切→9月号に掲載

〔評〕 蝌蚪とはおたまじゃくし。「蝌蚪の国」という言い方はあるが、濱田さんは偶然日溜りに「小さな国」を発見した。富田さんの句「やわらかし」に初燕を迎える喜びが加わる。江原さんはコロナ禍の生活を「籠りある」と表現し、燕を見て明るい気持ちになる。内田さんの句は当時への懐かしさが伝わる。齋藤さんの句は「籠りある」と表現し、光景が鮮明になる。櫻井さんはうつつむいて咲く片栗の花を思い、「風すこし」と願う。老鶯とは夏の鶯。大谷藤子は両神出身の小説家であり、小川さんは故郷を愛して止まらなかった藤子に思いを馳せる。設楽さんの句、信仰厚い薬師堂は桜の時期が最も華やき誇らしい姿を見せる。村田さんの句、「家族」という表現が、葱坊主の親しみやすさに繋がる。加藤さんの句は一気に詠み下し、春の瀬音が耳元に聞こえてくるようだ。

日溜りに蝌蚪の小さな国ありぬ	堀切町	濱田愛子
里山の風やわらかし初燕	上町	富田家司
籠りある空ひるがえし燕来る	下吉田	江原慶枝
桑影に遠き織子のしのび声	中町	内田定男
指さして幼は歌うチューリップ	吉田久長	齋藤大仙
片栗の花の村落風すこし	上野町	櫻井照子
老鶯や瀬音たどれば藤子の碑	荒川賢川	小川和子
薬師堂守る万朶の桜かな	小柱	設楽悦子
それぞれ家族のような葱坊主	近戸町	村田有
春風に乗ってくる谷の瀬音かな	日野田町	加藤しげ子

※次回7月号は短歌を掲載します